

平成 28 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ
機械工学インターンシップコース 2 月レポート
ボランティアと研究

新学期が始まってから 1 ヶ月が経ち、まだ寒さも残っていますが、調子も良く新しい授業環境にも慣れてきました。今月は大きなイベント事などは無かったのですが、その分新しいことを始める良い機会だとも感じました。そこで、今月から新しい取り組みとして Service Ambassadors というボランティア活動と卒業研究のための実験を開始しました。

Service Ambassadors

このプログラムは現地の学生と留学生が 2 人 1 組になりボランティア活動を通してお互いの文化などを学ぶ取り組みです。1 回 2 時間ほどのボランティア活動を 7 回行います。私のパートナーは薬学部の 1 年生なのです。ボランティア経験もあり、色々教えてくれるのでとても心強いです。Family Center という協会が運営する施設でキッチンに入り、簡単な調理と給仕をしました。



Family Center の厨房

卒業研究のための実験を実施

私は大学 4 年生ということもあって、せつかくこの時期に留学する機会を持てたので日本では出来ないような実験を試してみたいと思い、自作の実験装置を使い英語によるコミュニケーションに関する実験を行おうと思いました。

対人実験なので、参加者をリクルートすることが大変だと思っていたのですが、この 6 ヶ月で多くの人と知り合うことができたので実験を成功させる自信ができました。帰国するまでにデータを集め、留学中に目標を成し遂げたいと思います。

機械の掃除

今月、インターンシップの中で衝撃的なことがありました。今まで使っていなかった機械を何台か稼働させることになり、その機械の掃除を手伝うことになりました。長い間使われていなかったため、とても汚く機械内部から土のような錆びのカスが大量に出てきて驚きました。



機械内部に溜まったゴミ